

授業科目	総合理学療法学Ⅰ				
担当者	田坂厚志（実務経験者）、岩田 篤（実務経験者）、柳 千磨（実務経験者）			（オムニバス）	
実務経験者の概要	田坂厚志（理学療法士として、病院や介護保健施設などで実務経験あり） 岩田 篤（理学療法士として、病院などで実務経験あり） 柳 千磨（理学療法士として、病院や介護保健施設などで実務経験あり）				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	2単位
		開講時期	通年	選択・必修	必修

## ■ 内 容

総合臨床実習Ⅰ（評価実習）の準備として、知識及び実技の総復習を行う。

## ■ 到達目標

総合臨床実習Ⅰ（評価実習）に必要な知識と技能を修得する。

## ■ 授業計画

- 第1回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習1
- 第2回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習2
- 第3回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習3
- 第4回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習4
- 第5回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習5
- 第6回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習6
- 第7回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習7
- 第8回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習8
- 第9回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習9
- 第10回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習10
- 第11回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習11
- 第12回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習12
- 第13回 臨床実習に向けた取り組み1
- 第14回 臨床実習に向けた取り組み2
- 第15回 臨床実習に向けた取り組み3
- 第16回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習13
- 第17回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習14
- 第18回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習15
- 第19回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習16
- 第20回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習17
- 第21回 理学療法の基本的な知識及び技術の復習18
- 第22回 国家試験模試の準備1
- 第23回 国家試験模試の準備2
- 第24回 国家試験模試の準備3
- 第25回 国家試験模試の準備4
- 第26回 国家試験模試の準備5
- 第27回 総合臨床実習に向けた取り組み1
- 第28回 総合臨床実習に向けた取り組み2
- 第29回 総合臨床実習に向けた取り組み3
- 第30回 総合臨床実習に向けた取り組み4

## ■ 評価方法

知識を問う試験（40％）：国家試験模試（1回）、小テスト（提出物の確認を含む）

実技試験（60％）：臨床実習Ⅱ前実技テスト、OSCE（2回）

正当な理由の無い欠席（4点）、遅刻（2点）は減点対象とする。事前連絡及び大学への出席後速やかに届けを提出すれば減点を緩和する。

不真面目な受講態度についても減点対象とする。

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

これまでに学習してきた理学療法評価技術等に関しては自主練習等で復習をすること。

過去の資料を整理し、知識の定着に結び付けられるような準備をすること。

## ■ 教科書

## ■ 参考図書

書名：随時紹介します。

## ■ 留意事項

提出を求められた場合は確実に提出する。

## ■ 講義受講にあたって

総合臨床実習や国家試験で求められる知識及び技術を本講義で総括的に学修する。